



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

SINCE 1834

ハートセンター

Cardiovascular Center

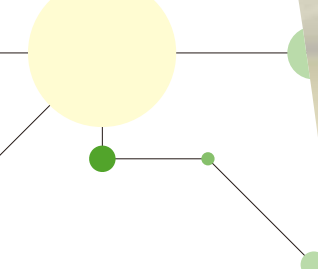
SAGA-KEN

MEDICAL CENTRE

KOSEIKAN

SINCE 1834

2019.7



血流再開までの時間を いかに短縮できるか。

●急性冠症候群について

急性冠症候群 (acute coronary syndrome : ACS) とは、不安定狭心症、急性心筋梗塞症および心臓突然死などの総称ですが、いずれも冠動脈にできた動脈硬化性プラークが破裂し血栓が形成され、急激に冠動脈の血流が減少あるいは途絶することによって起こります。

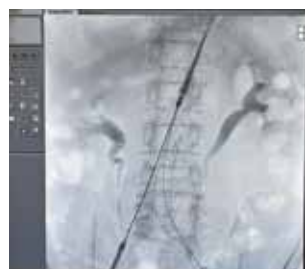
患者さんの救命率向上のためには、如何に早くかつ的確に診断し、冠動脈血流の再還流治療を実施できるかにかかっています。ハートセンターでは、24時間体制で急性冠症候群に対応できる体制を整えています。

●循環器ホットライン

0952-24-2178

地域の先生方からの依頼を速やかに対処できるよう、循環器スタッフが直接電話をお受けいたします。

* 24時間対応



ハートセンター

Cardiovascular Center

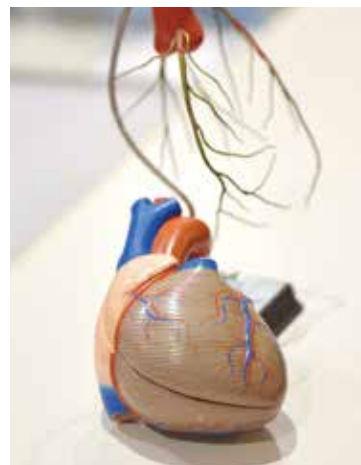
近年、循環器疾患領域では「ハートチーム」という言葉が良く使われます。これは元々ヨーロッパ心臓病学会で提唱された言葉で、ひとりの心臓病の患者さんを治療するにあたり、循環器内科、心臓血管外科およびその他のコメディカルスタッフ(看護師、薬剤師、臨床工学技士、検査技師、理学療法士など)が十分な討論を尽くした後に、ベストの治療を選択するという概念です。

好生館では、以前より循環器内科と心臓血管外科で合同カンファレンスを行っていましたが、さらに「ハートチーム」の概念を取り入れ、心臓病治療のプロ集団として多職種が日常診療している現場を「ハートセンター」と呼称し、チームとしての結束を固めました。

「ハートセンター」では、例えば狭心症患者の治療を決めるに当たって、冠動脈造影検査にて左主幹部病変や3枝病変があるか、また糖尿病や腎不全などの併存疾患があるかを慎重に検討します。ひとりひとりの患者さんのベストの治療はそれぞれ違うので、本人の治療希望も考慮した上で、冠動脈カテーテル治療あるいは冠動脈バイパス術を行うかを決めています。その他、心臓弁膜症や大動脈疾患に対する外科治療の選択にも「ハートセンター」は極めて有効に機能しています。

また心臓疾患は急性発症が多く、迅速な診断と適切な治療が救命のための重要なポイントとなります。「ハートセンター」は救急部および集中治療部とのチームワークにより、迅速かつ質の高い治療を可能としています。さらに早期から心臓リハビリテーションを行い、最終的には地域医療施設との連携により、患者さんの早期社会復帰を目標としています。佐賀県の循環器疾患患者さんに質の高い安全な治療を提供できるよう精進していきます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

ハートセンター長
江島 健一



SAGA-KEN
MEDICAL CENTRE
KOSEIKAN
SINCE 1834

循環器内科 Cardiology

循環器救急疾患への迅速な対応を——

当科では救命救急医療に積極的に取り組んでいることもあり、急性心筋梗塞などの虚血性心疾患や不整脈疾患を数多く診療しています。これらの疾患は、発症した際の的確な診断と治療をいかに早く開始できるかが、患者さんの生死を握っていると言っても過言ではありません。

これら循環器救急疾患に対する最近の私たちの取り組みとしては、NTTドコモと協力して心電図伝送システムを構築しました。このことにより、急性心筋梗塞の患者さんのところに駆けつけた救急隊員から、私たちが常時持ち歩いているスマートフォンにリアルタイムに心電図を送ることができ、素早い搬送指示と到着後直ちに治療を行なうことが可能となりました。

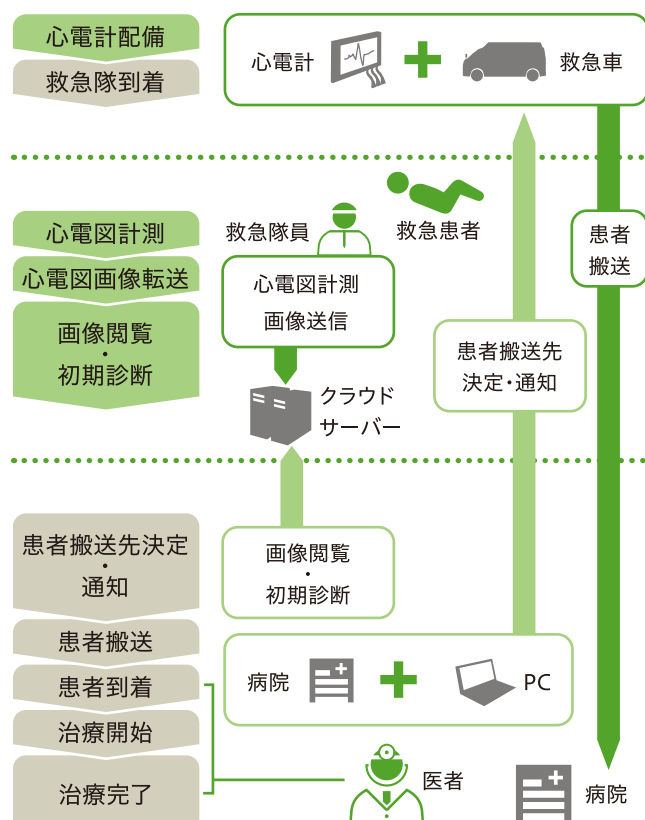
近年、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療が注目されており、特に心房細動に対する症例が大半を占めるようになっていきます。当科ではおよそ10年以上前からカテーテルアブレーションを行っています。当科の心房細動カテーテルアブレーションの特色としては、常勤の不整脈専門医の指導の下に行うこと、患者さんに苦痛が少ない全身麻酔下で行うこと、最新3Dマッピングシステムをいち早く取り入れており安全確実な手技が可能であることです。

私たち循環器内科医は、患者さんにより良い循環器医療を提供できるよう今後も日々努力を続けて診療していきたいと思っています。

心臓カテーテル検査



心電図伝送システムイメージ



心臓血管外科 Cardiovascular Surgery

ひとりひとりに対して、ベストの術式を選択

当科では毎年約80例の心臓大血管手術と約400例の末梢血管手術を行っています。心臓大血管手術は大きく3つに分類され、虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス術、心臓弁膜症に対する弁置換術や弁形成術、大動脈瘤に対する人工血管置換術やステントグラフト内挿術です。患者さんに対して如何に安全にかつ低侵襲的に行うかを術前に十分検討した上で、ひとりひとりに対してベストの術式を選択し手術を行っています。また当科の特徴として、下肢閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤などの末梢血管疾患の患者さんが多い事が挙げられます。糖尿病や慢性腎不全合併例が多く、併存疾患に対する厳重な管理の元に血管内治療や外科的血行再建術を行うことで治療成績を向上させています。今後も心臓血管外科は、患者さんをまず第一に考え安全な手術をする事(patient first)を最優先いたします。



ステントグラフト内挿術(ハイブリッド手術室にて)

■ ハートセンターを中心とした、各科・各部門の連携



集中治療室(ICU)



MEセンター



看護部



救命救急センター



ハートセンターでは、循環器疾患の患者さんに質の高いチーム医療を届けることを最大の目標としています。

心臓血管外科

● 心臓血管外科 部長 里 学

日本外科学会外科専門医・指導医、
心臓血管外科専門医・修練指導者、
初期臨床研修連絡協議会臨床研修指導医、
胸部ステントグラフト実施医、
腹部ステントグラフト実施医・指導医、
浅大腿動脈ステントグラフト実施医、
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医、
ICD/CRT 研修終了証取得者

● 医療安全管理部 部長 / 副館長 内藤 光三

日本外科学会外科専門医、
心臓血管外科専門医・修練指導者、
日本心臓血管外科学会評議員、脈管学会専門医、
医療安全管理者

● 医長 川崎 裕満

日本外科学会外科専門医、
心臓血管外科専門医・修練指導者、
日本循環器学会認定循環器専門医、
腹部ステントグラフト実施医、
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

● 医師 吉田 望

日本外科学会外科専門医、
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

● 集中治療室

● 救命救急センター

● ME センター

● 生理検査室

● 心臓カテーテル検査室

● 心臓リハビリテーションチーム

循環器内科

● ハートセンター長 / 循環器内科 部長 江島 健一

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、
日本循環器学会認定循環器専門医、
日本心血管インターベンション治療学会専門医、
日本高血圧学会専門医、
日本高血圧学会特別正会員

● 医長 吉田 敬規

日本内科学会認定内科医・指導医、
日本循環器学会認定循環器専門医、
日本心血管インターベンション治療学会専門医

● 医長 中村 郁子

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、
日本循環器学会認定循環器専門医、
心臓リハビリテーション指導士

● 医長 堤 考樹

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、
日本循環器学会認定循環器専門医、
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医、
日本心血管インターベンション治療学会認定専門医、
日本心エコー図学会 SHD 心エコー認証医

● 医師 本田 修浩

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、
日本循環器学会認定循環器専門医

● 医師 三上 剛

日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医、
ICLS インストラクター

● 医師 酒見 拓矢

日本内科学会認定内科医、
日本心血管インターベンション認定医

● 医員 鶴田 浩太呂

● 医員 横山 博毅



心臓血管外科



循環器内科



地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地

TEL 0952-24-2171(代) FAX 0952-29-9390